

【確定版】

令和 7 年度江戸川区立篠崎中学校研究紀要

【反転授業事例集】

思考力・判断力・表現力等の育成 ～反転授業の導入を通して～

令和 8 年3月6日

江戸川区立篠崎中学校

はじめに

令和6年12月25日 文部科学大臣臨時代理 国務大臣から次期学習指導要領の改訂に向けた諮問がされました。

この諮問では、大きく以下の3つの課題が上げられています。

- 主体的に学びに向かうことができていない子供の存在
- 学習指導要領の理念や趣旨の浸透は道半ば
- デジタル学習基盤の効果的な活用

本諮問を受け、中央教育審議会の様々なワーキンググループでは、活発な議論がなされています。この議論に注視してみると薄っすらと以下の次期学習指導要領の改訂に向けた以下の方向性が見えてきております。

- 主体的・対話的で深い学びの実装
- 多様性の包摂
- 実現可能性

また、この方向性に向けた方策として、教師と子供に「余白」を生み出すこと。学校に「裁量」を与えること。AI時代に必須の「情報活用能力」を体系化し、評価を「個人の成長」を促すものに変えること。などがあげられております。

一方で、本学校では、この方向性の中核になり得ると考える「思考力、判断力、表現力等の育成」に課題があることが見えております。

そこで、本校では、全教員での学力の概念を一新し、研究主題「思考力、判断力、表現力等の育成～反転学習の導入を通して～」を掲げ、次期学習指導要領の改訂に向けてのファーストステップに踏み込んで参りました。

本実践では、今まで本校が培ってきた学びのユニバーサルデザイン(UDL)を導入しての授業実践に加え、本年度は、「全教科等における反転学習の実施」及び、次年度から実践に移します「総合的な学習の時間(読書科)のカリキュラム作り」を行ったところです。

これらの取り組みの一つ一つが、子供たち自身で、自らの未来を創造していく力の源になっていくことを心から祈っております。


結びになりますが、本年度の校内研修の実施にあたり、年間を通して、御指導・御助言いただきました江戸川区教育委員会事務局教育相談センター松井芳信指導主事には、この場を借りて深く御礼申し上げるとともに、江戸川区の指導主事の皆さまの御健勝と益々の御発展をお祈り申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

令和8年3月

江戸川区立篠崎中学校
校長 紅林 兼一

もくじ

第一	研究概要	P 5
1	主題設定の理由	P 5
2	研究構想図	P 6
3	先行研究	P 7
(1)	反転授業とは？	P 7
(2)	反転授業の実践に向けて	P 7
(3)	まとめ	P 8
(4)	反転授業に必要な準備	P 8
(5)	実践例	P 9
第二	実践編	P 10
1	国語	P 11
2	社会	P 13
3	数学	P 15
4	理科	P 18
5	音楽	P 21
6	美術	P 22
7	保健体育	P 23
8	技術・家庭	P 26
9	外国語	P 27
第三	研究のまとめ	P 30
1	現行学習指導要領の実施状況から見えた課題	P 31
2	時期学習指導要領に向けて	P 30
3	篠崎中学校の本年度研究の成果と課題	P 34
4	今後に向けて	P 35
参考・引用文献		P 37
研究組織(DX部)		P 38



第一

研究概要

- 主題設定の理由
- 研究概要
- 研究構想図
- 先行研究

1 主題設定の理由

本校では、一定程度の学力の成果が上がっているものの、思考力、判断力、表現力等については、十分な成果は見られていない。

そのため、本校では、令和5年度から全生徒に対する自己が発見した課題の解決に向けた「調べる学習」を実施し、学校全体での思考力・判断力・表現力等の育成に努めた。しかし、活動ありきの現状が浮き彫りになるなど、以下の課題が上がった。

◎カリキュラム・マネジメントが推進されている中で、教科等横断的な視点での指導内容や方法が、学校として確立していないこと。

○「思考力、判断力、表現力等」を育成する上で、各教科等において、各教科の見方、考え方を適正に捉えての指導と評価が十分でないこと。

○「思考力・判断力・表現力等」を育む中で、子供たちが主体的に学びに向かおうとしているかどうかについて、具体的検証までには至っていないこと。

そこで、本校としては、思考力、判断力、表現力等の育成を図る中で、まずは、上記課題の中でも、カリキュラム・マネジメントに視点をあてての取り組みが第一歩であると考え、本年度の主題を設定した。

2 研究概要

4月 学校経営計画の共有

中期目標1「学力向上」

基本方針(2)「学習指導要領に対応した教員の指導力向上」

- ・反転授業を導入した課題解決型学習に関わる授業研究を計画的に実施し、事例集を作成する。
- ・調べる学習コンクールへの出品を軸にした、読書科指導指針に基づいた「読書科」の充実をする。

5月 校内研修「反転授業について」教育相談センター 松井 芳信 氏

反転授業とは、反転授業の実践に向けて、まとめ、反転授業に必要な準備、実践例 など

12月 研究授業

・第一学年 田中 英語科

過去形

・第二学年 飯塚 社会科

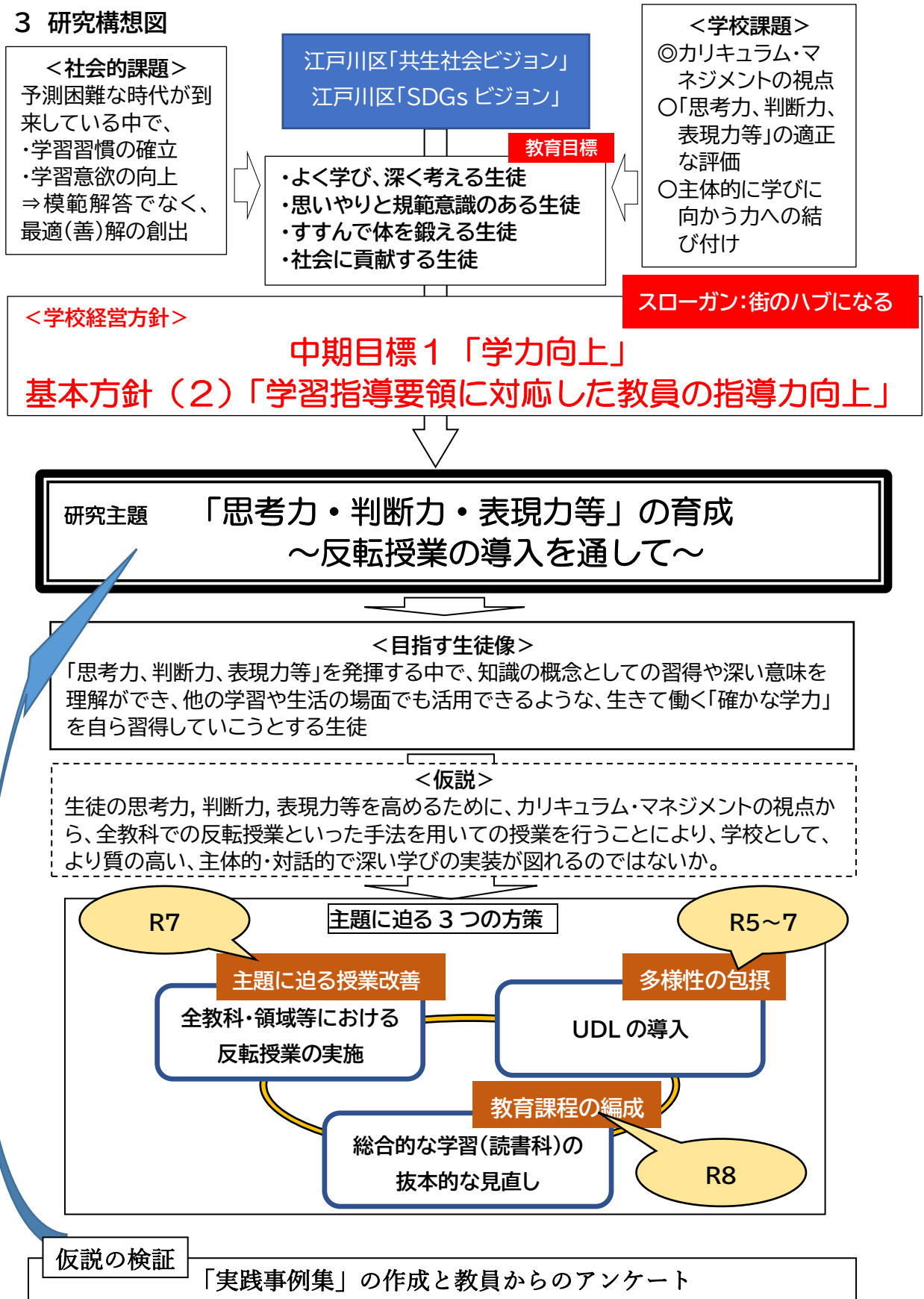
日本の諸地域「関東地方 人口の集中と第三次産業、工業、農業の発達」

・第二学年 朝治 社会科

日本の諸地域「中国・四国地方」

1月 校内研修「指導事例集」について 教育相談センター 松井 芳信 氏

3 研究構想図



4 先行研究

※令和7年5月28日(水)校内研修講師

江戸川区教育委員会教育相談センター 松井芳信 指導主事 資料より

(1)反転授業とは…

①反転授業とは

通常思い浮かべる授業

- ①先生が教壇に立って講義
- ②復習として宿題や課題



反転授業

- ①「授業」を映像教材等用いて予習の形で受講
- ②演習や意見交換等を学校の教室で行う。

②反転授業の実践効果

A 高校(英語科の実践)

※反転授業実施前の数年において、すべての教員の指導結果に大きな差異はなかった。

1組2組3組	A 教員	反転授業
		→79.2%
4組5組6組	B 教員	通常授業
		→72.2%
7組8組9組	C 教員	通常授業
		→70.8%

※定期テストにおける同一問題での正解率

(2)反転授業の実践に向けて

①反転授業で重要なこと

○学習成果を生む3要素(MMT)

- ・マインド セット・心的態度(Mindset)
- ・学習方法(Method)
- ・学習時間(Time)

○教師と生徒の信頼関係構築

- ・授業を通して身に付ける力を理解させる(する)
- ・生徒が教師とともに授業を作り上げる気持ちをもたせる(もつ)

②主体性をもたせるために

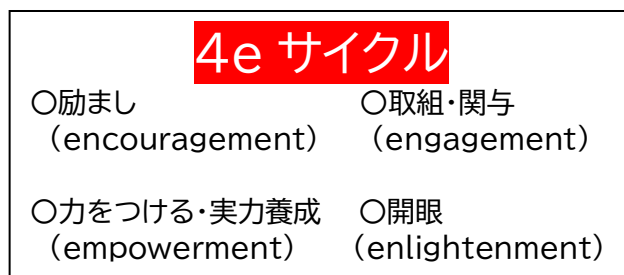
○主体的とは

ある状況が起こった時に反応するというよりも、その状況を創造したり、コントロールしたりすること。

反転授業とは学習方法(Method)である。目的ではなく「手段」

反転授業をやるから生徒は主体的になり、学習成果があがるわけではない。

- 主体的に学習する生徒とは
学習状況をコントロールし授業内容を自分のものとし学習成果に責任を負う生徒
- 主体性をもたせるために教師が心掛けること。
4e サイクルを連鎖的に繰り返す！！



(3)まとめ

- ①反転授業が生徒の学習における成功をもたらすのではない。
学習に対して主体性を持つ生徒が反転授業を通して成功する。
- ②生徒の主体性を育む工夫が教師に求められる。
教師の学びにも、主体性が求められる。(生徒のロールモデル)

(4)反転授業に必要な準備

- ①いつやるか(時期)
 - ・同時に複数教科で実践されると、一時的に生徒の負担増
(効果の実感と慣れで緩和)
 - ・教科を限定？or 時期を分散？
- ②どこでやるか(単元)
 - ・特に得意とする単元
 - ・予習教材が充実している単元
- ③見通しのある単元計画
 - ・全○○時間で、いつ何をやるのか、の予定が示されていることが重要。
※それに向けて事前勉強
- ④予習教材の用意
 - 授業動画の自作、予習プリント、生徒用デジタル教科書、ドリルパーク、YouTube など。著作権についても十分配慮する。
- ⑤予習部分の理解度は
 - 授業での観察、小テスト、補強プリント、ドリルパーク、解説時間の確保
- ⑥生み出した時間の使い方
 - ・どんなことをやって学習成果を高めたいのか？
「授業時間に余裕が生まれたから、あれについて詳しい話ができるな。」

(5)実践例

①参考事例(英語科)

ア 目的(生み出した時間の使い方)

「動画により教室外で理解した知識」を獲得し、教室内では「その知識を活かし、パフォーマンスに変えるスキル」を育成するため、インプットとアウトプット活動に時間を割きたい。

イ 単元計画の流れ

○反転授業で通常授業を3周りさせる

<具体例>

1巡目 ①から⑤(50分×8)

2巡目 ④と⑤を1回2パート分(50×4)

3巡目 ④と⑤を1回1レッスン(50×2)

※残り2時間は発展や補教的活動

<授業内容>

①前回の復習(5分)

②本時の単語・熟語の確認と音読(10)

③家庭学習プリントで学習した内容の

確認テストと答え合わせ(8分)

④本時の英文の定着活動(20分)

⑤確認テスト(7分)

②実践例(数学科)

ア 目的(生み出した時間の使い方)

教師主導の授業から「動画により教室外で理解した知識」を獲得し、問題発見・問題作成スキルを養う。また、個人中心の学びを協働的な学びにさせたい。

イ 単元の流れ

- ・内容理解①② 反転授業
- ・内容定着③④ 教師主導
- ・活用と協働⑤ 協働学習
- ・振り返り⑥⑦ 学習のまとめ

<授業内容>

①教科書の予習↔②予習ノート

③予習理解チェック

④教師主導による知識確認のための問題演習

⑤級友との協働学習↔ジグソー法で協働学習

⑥学習内容の振り返り→⑦総括的評価


活用と協働→生徒が以下に取り組む

・作問する

・解き合う

・採点する

・解説動画を作る



第二

実践編

○目的

思考力、判断力、表現力等の向上を重点として、より効果的、効率的な授業の在り方の実践研究を行う。

○実施期間

令和7年5月29日(木)～令和7年12月10日(水)まで

1 国語 書写

2 学習の流れ

(1) 反転内容(書初め動画)・・・授業前、に家庭で視聴

- ・それぞれの画のポイントの説明
- ・始筆 送筆 終筆 の学習ポイント
- ・様々な練習方法

(2) 学習の流れ(2・3時限目)

① 反転した学習内容の確認

② 個人学習

- ・筆の持ち方
- ・バランスの取り方

③ まとめ

- ・学習で得たこと、書く練習量を増やす

3 その他(特に留意したこと等)

- ・抵抗がなければ、手を持って一緒に書いた。

令和7年度国語書写部

書き初め

https://edotokushi.sharepoint.com/:v/s/msteams_51b978



1 国語科(第二学年「平家物語」全5回)

2 学習の流れ

(1) 反転内容(10分の動画視聴と予習プリント)・・・授業前

- ・「平家物語」の概要と大まかな内容を捉える
- ・文章の朗読を聞く
- ・「平家物語」冒頭の古文と現代語訳を書き写す

(2) 学習の流れ(1・2・3時限目)

① 動画視聴の内容を基に、教科書の本文や図解資料を用い、「平家物語」のあらすじを確認する。

① 予習プリントを基に、古文を確認する。

② 古文を音読し、文章の独特の調子やリズム、言葉の響きを感じ取る。

③ 予習プリントを基に、現代語訳を確認し、冒頭部分の内容と表現の工夫を捉える。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・予習プリントは自力で取り組めるものにした。
- ・授業と予習内容をつなげるために、授業内で動画を一部再視聴し、補足して説明した。



1 国語科(特別支援学級 年賀状作り 全3回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(10分の動画)・・・授業前に視聴

- ・年賀状の歴史
- ・年賀状を書く際の注意点

(2)学習の流れ(2時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②動画を例にして、年賀状を送りたい相手への自分なりの表現を考える。
- ③まとめ
 - ・多様な新年の挨拶の確認。
 - ・宛名などの手紙の書き方の確認。

<https://www.bing.com/videos/riverview/relatedvideo?&q=%e5%b9%b4%e8%b3%80%e7%8a%b6%e3%81%ae%e6%9b%b8%e3%81%8d%e6%96%b9&&mid=E249716049E1C5B2B90AE249716049E1C5B2B90A&&FORM=VRDGAR>

3 その他(特に留意したこと等)

- ・動画内のイラストを適宜見せ、視覚的にイメージしやすくした。



社 会

1 社会科 1学年 ヨーロッパ州 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容授業前、課題に取り組ませる。

- ・EU加盟のメリットを教科書資料の中から1つ選び、なぜそう考えたのか記入する

(2)学習の流れ(2・3時限目)

①反転した学習内容の確認

最終課題 教科書 P71の「EU加盟国間で行えること」の中から、1番良いと思うのはどれ???

②EU加盟・脱退ゲームを実施する

- ・9つの班に分けて、ランダムにヨーロッパの国を割り振る。
- ・事件カードを用意して、メリットとさせる。
- ・加盟か、脱退かを選択できる要素を加えて、自分たちの選択が及ぼす影響も体感させる。

理由→

EU加盟?脱退?ゲーム

③まとめ

- ・現実の世界で起きていることとも、リンクさせながら振り返りを行う。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・獲得したポイントにのみ意識が向きがちになるので、なぜこのような影響が出るのかについて必ず説明した。

1 社会科(第二学年 社会科地理的分野 … 全2回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(自作動画)…1時限と2時限の間に視聴

- ・豊予海峡道路の概要(2分16秒、全員視聴)
- ・豊予海峡道路のメリット(計2分13秒、半数視聴)
- ・豊予海峡道路デメリット(計2分16秒、半数視聴)

(2)学習の流れ(第2時限)

①オクリンクプラスに制作したカードに各自が

視聴した動画内容のまとめを入力。

②グループ学習

- ・他者の提出カードを確認する。
- ・互いの立場から説明し合う。
- ・資料を確認したうえで、改めて建設の可否を選択。

③まとめ

- ・建設費の調達先など、資料外の観点も紹介。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・クラスをあえて先に二分しておき、それぞれの立場の説明動画のみを見せた。
- ・テーマには、現実の社会において議論になっているものを選んだ。

1 社会科(第三学年 歴史的分野「開国と幕府政治の終わり」)

2 学習の流れ

(1)反転内容(NHK for School)

- ・・・授業前に視聴
 - ・複数の指定動画から選択して視聴
 - ・尊王攘夷運動の高まりから、大政奉還までの流れを確認

(2)学習の流れ(1～3時限目)

①反転した学習内容の確認(第1時)

- ・ペアで立場(視点)を分担「薩摩藩」「長州藩」
- ・指定動画の配布(オクリンクプラス上で6点)

②レポートの作成(第2時)

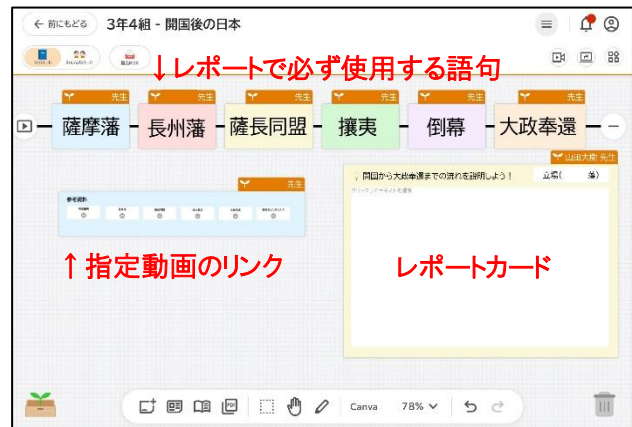
- ・学習形態は生徒が選択(個人・ペア・グループ)
- ・レポートの要点を全体確認
- ・オクリンクのカードに尊王攘夷の高まりから大政奉還までの流れをまとめる

③まとめ(第3時)

- ・レポートにまとめた内容をペアに説明
- ・本単元の要点を全体で確認

3 その他(特に留意したこと等)

- ・薩摩藩と長州藩のどちらの立場(視点)を選択しても、レポート内容が同様の歴史的推移になるよう、必ず使用する単語を指定した



1 社会科(第2学年 地理・・・関東地方 全3回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(10分の NHK for school の動画)・・・授業前、に視聴

- ・東京大都市圏に占める人口の割合
- ・栃木、群馬、茨城に工業地域が広がった理由
- ・大泉町に外国人が多く住む理由

(2)学習の流れ(2時限目)

①反転した学習内容の確認

②グループ学習(産業が発展した理由)

- ・7つの資料を提示する。
- ・商業、工業、農業が関東で発展した理由を考える。

③まとめ

- ・人口の密集が産業の発展につながっている。
- ・人口密集によって生まれる都市問題を予想する。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・複数の資料を提示し、考察の根拠を明らかにするよう促した。



事前視聴動画
NHK for School『なぜ群馬県には多くの外国人
が暮らしているの?～関東地方～』

1 数学科(第三学年 相似な図形…全23時間)

2 学習の流れ

(1)反転内容(9分の動画)…授業前に視聴(宿題)

- ・相似な図形の定義
- ・相似比の説明
- ・辺の長さ・角の大きさ

(2)学習の流れ(全23時間中の1時間目)

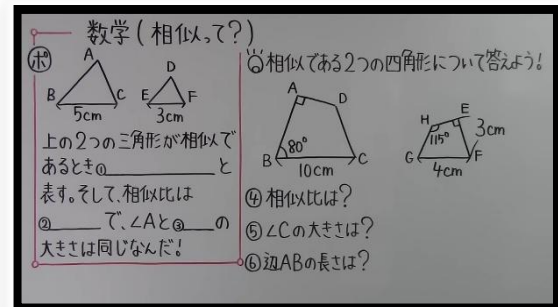
①反転した学習内容の確認

②問題演習

- ・相似比
- ・辺の長さ

③まとめ

- ・今回の授業の要点
- ・次回の授業につながる発問



動画 URL

https://youtu.be/LE-rh8u31Ak?si=xQq_S12Z3pShK4mu

3 その他(特に留意したこと等)

- ・授業の始めに、動画で学習した内容がどれくらい理解できているかを把握するために確認テストを行い、その結果をもとに(2)①の時間や内容を調整した。

1 数学科(第二学年 三角形と四角形…全18時間)

2 学習の流れ

(1)反転内容(4分半の自作動画)…授業前に視聴

- ・二等辺三角形の定義
- ・二等辺三角形の定理
- ・頂角・底角の説明

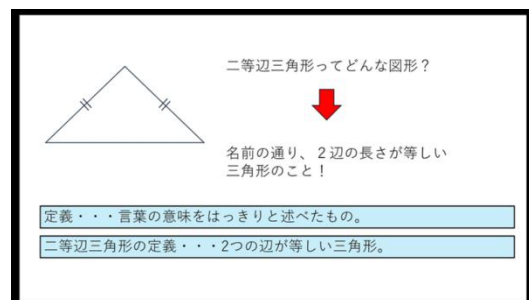
(2)学習の流れ(全18時間中の1時間目)

①反転した学習内容の確認

②二等辺三角形の定理の証明

③角度の計算

④まとめ



動画は TeamShinozaki の
一般のファイルに格納

3 その他(特に留意したこと等)

- ・パワーポイントを使って、画面録画をして動画を作成。授業者が顔を出さずにオンライン上に投稿できるよう工夫した。
- ・動画を Teams の課題機能を利用して投稿。同時に Forms を利用して受講内容の確認と定着を図る。
また、誰が受講したか把握ができるように工夫した。
- ・授業の最初に、Forms を利用した確認テストを短時間で行う。
繰り返し確認することにより、内容を想起しやすくなるよう工夫した。

1 数学科(第一学年 第5章1節…図形の移動 全5回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(合計9分の動画)…授業前に視聴

- ・回転移動の見方と性質
- ・回転移動した図形をかく方法

(2)学習の流れ(3時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②個人活動
 - ・三角形を回転移動した図形をかく
 - ・等しい角や辺を見つける
- ③まとめ
 - ・回転移動の性質の確認

<https://youtu.be/yFVpaZAZMsY?si=xhiA3Vbx6Zi1lNgb>



3 その他(特に留意したこと等)

- ・対応する頂点を動画を止めながら確認した。

1 数学科(第一学年 第5章2節…基本の作図 全6回)

2 学習の流れ

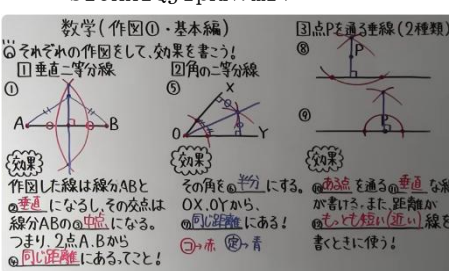
(1)反転内容(12分の動画)…授業前に視聴

- ・基本の作図の方法
- ・作図した線に関する性質

(2)学習の流れ(2・3時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②個人活動(プリント課題)
 - ・基本の作図
 - ・ひし形を見つける
- ③まとめ
 - ・作図の応用に使えるような内容の精査

<https://youtu.be/mjPTeZFns8I?si=slohxlQJ1pRN7mfV>



3 その他(特に留意したこと等)

- ・作図の手順は、なるべく同じタイミングで見ながら

1 数学科(第三学年 二次関数)

2 学習の流れ

(1)反転内容(9分の自作動画)・・・授業前に視聴

以下の内容について事前に動画を作成し、授業前に見てくるとし問題を出し、授業に望んでもらった。

- ・二次関数の性質
- ・グラフの特徴と描き方

(2)学習の流れ(4時限目)

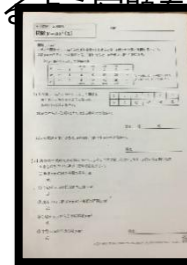
①反転した学習内容の確認

②問題演習

- ・ $y = ax^2$ の基礎知識についての演習
- ・グラフ作成演習

③まとめ

- ・今回の授業の要点
- ・次の授業内容について軽く触れ、次回の授業の見通しを持たせる



動画は Teams の 9 組フォルダに保存してあります。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・iPad で普段使用している教材に書き込みながら解説しているものを録画し、投稿したことで、教員が顔を出さずともできるように工夫した。

1 数学科(第三学年 第5章1節・・・相似な図形 全9回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(10分の動画)・・・授業前に視聴

- ・相似な図形の意味と性質
- ・相似比の求め方

(2)学習の流れ(2時限目)

①反転した学習内容の確認

②個人活動

- ・相似な図形の辺の長さを求める
- ・相似な図形をかく

③まとめ

- ・相似な図形の性質について確認

3 その他(特に留意したこと等)

- ・相似な図形をかく際は、相似の中心の使い方を丁寧に説明した。

https://youtu.be/LE-rh8u31Ak?si=xQq_S12Z3pShK4mu

数学(相似、て?)

① 相似である2つの四角形について答えよう!

上の2つの三角形が相似であるとき、と表す。そして、相似比は、 $\frac{\text{②}}{\text{③}}$ で、 $\angle A$ と $\angle \text{④}$ の大きさは同じなんだ!

⑤ $\angle C$ の大きさは?

⑥ 辺ABの長さは?

1 理科(第2学年 気象・・・天気の変化の予測)

2 学習の流れ

(1)反転内容(天気図を見る)・・・前日に確認
前日の天気図を確認し、翌日(授業日)の天気を予測し、その理由も記述させる。(思考・表現)

(2)学習の流れ

①授業日の気象条件を確認

②グループ学習

4人班で気象予測を相互評価。最も根拠をもって予想できているものをあげる。(判断)

③各班で選ばれたものを紹介。

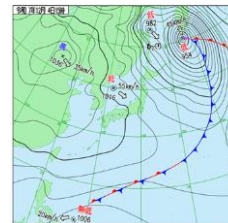
④まとめ:何を根拠として天気図から気象を予測できるかを確認する。

3 既習事項をどのように生活に生かせるかを、生徒同士の話し合いから気づけるようにする。

【気象庁 天気図】



(天気図の例)



1 理科(第三学年 地球と宇宙・・・年周運動 全3回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(天体シミュレーターでの作業)・・・授業前に実施

・誕生日の星空の観察

・誕生日の星座の観察

(2)学習の流れ(2時限目)

①反転した学習内容の確認

②グループ学習

・自分の星座が見える期間と誕生日の星座が見える期間の関係性を考える。

・星座の見え方から、地球の年周運動を説明する。

③まとめ

・異なる星座・誕生日の班の意見を集約し、1枚のボードにまとめる。

・地球の公転についてヒントを与え、次回までの宿題とする

【web 天体シミュレーター stellarium】



1 理科(第2学年 理科・・・炭酸水素ナトリウムの熱分解)

2 学習の流れ

(1)反転内容

- ・実験の流れの動画を事前に配布
- ・家庭で動画を視聴し、必要なものを確認

(2)学習の流れ

- ・実験における注意事項を、班内で確認
 - ・手順を班で共有
- ・結果について、確認方法を班で話し合い
- ・実際に実験を行い、結果を導く

動画集 (本日は一番上を配布)



3 その他

- ・実験動画を事前に視聴してくることで、今までのように耳で確認するだけでなく視覚的な部分で、操作が容易となった。
- ・操作の説明をする時間を短縮することができた。
- ・注意事項を互いに確認することで、より理解が深まった。

1 理科(第2学年 理科・・・光合成のしくみ)

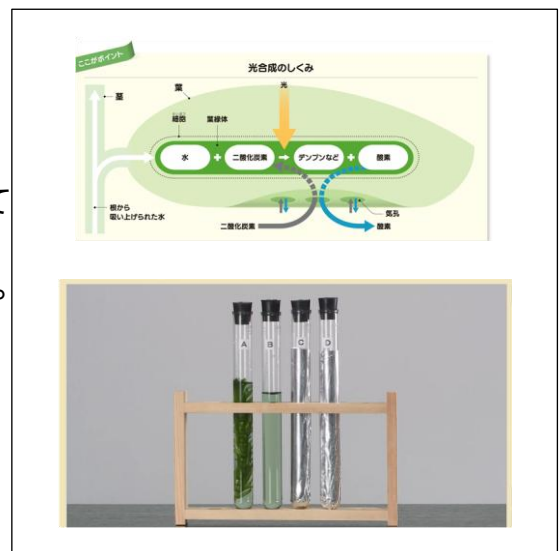
2 学習の流れ

(1)反転内容

- ・小学6年生の時の「植物の成長と日光の関わり」を振り返らせ、光合成について調べた。
- ・事前に右図のような仕組みを提示した。

(2)学習の流れ

- ・「光合成と二酸化炭素の関係」の実験(右図)を行った。
- ・プリントを配布し、実験の結果を、反転内容から、考え結果を導き、考察について班で協議した。



3 その他

- ・教科書の指導計画では、実験を行い、その結果から光合成に必要なものを考察している。今回は、逆の順番で取り組むことでより実験について理論立てて観察することができた。
- ・普段よりも考える時間をとることができ、意見の交換も活性化していた。

1 理科(第一学年 身の回りの物質とその性質・・・ガスバーナーの使い方 全2回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(2～3分の動画)・・・授業前、に視聴

- ・使い方の流れ
- ・注意事項の確認

(2)学習の流れ(2時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②グループ学習
 - ・1人1回ガスバーナーに火をつけ、消すところまで行う。
 - ・班員の手順を評価シートに記入する
- ③まとめ
 - ・ガスバーナーの仕組みおよび、使い方、注意事項を確認し、次回の実験の告知



1 理科(体細胞分裂の観察)

2 学習の流れ

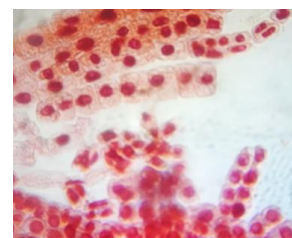
(1)反転内容(3分30秒のYOUTUBE動画)

- ・体細胞分裂の観察の実験手順の確認
- ・塩酸処理の仕方と塩酸処理をする理由の確認
- ・核の染色方法の確認



(2)学習の流れ

- ①反転した学習内容の確認
- ②体細胞分裂の観察
 - ・実験は各自で行う。必要があれば再度動画を視聴する。
 - ・塩酸処理→核の染色→顕微鏡を用いて観察
 - ・市販のプレパラートを観察し、自分が作ったプレパラートと比較をする。
- ③まとめ
 - ・今回の学習で得たこと



3 その他(特に留意したこと等)

実験の仕方・方法についてはなるべく教員が口出しをせず、自分たちで確認しながら行うよう促した。その代わりに、なぜその操作をする必要があるのかは、反転学習で得た知識を元に適宜答えさせるようにした。

1 音楽科(第三学年 合唱「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ」
… 全4回中1回目)

2 学習の流れ

(1)反転内容(パート別音源)…授業前に視聴

- ・自身のパート別音源を楽譜を見ながら3回聴く。
- ・既習内容の音楽用語等の意味を楽譜に書き込む。

(2)学習の流れ

①反転した学習内容の確認(音楽用語について)

②パート別学習

自身のパートの音源に合わせて、区切りながら歌う。(1番のみ)

③まとめ

学習で得たこと、次の授業で取り組みたいこと。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・事前にパート別音源を聴いてくることにより、歌う時間が増え、正しい音程やリズムの習得が早くなった。細かい音程やリズムに関しては、楽譜から間違いがないように、生徒たちと一緒にピアノを使用して指導する。



1 美術科(第一学年 デザイン…シンボルマーク制作 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容…授業前に家庭で課題に取り組む

- ・身の周りにあるシンボルマークを撮影し、
マークの由来や込められている意味を調べてくる。
- ・ミライシードのオクリンクに調べた内容をまとめて提出する。

(2)学習の流れ

- ・調べてきた内容をグループで共有する。
- ・デザインの工夫について話し合う。
- ・全体で情報共有をする。
- ・デザインの工夫を踏まえながら
自分のマークを制作する。

3 その他

- ・身の周りにマークが無かった場合は
インターネットから画像を探すよう
に伝えておく。



オクリンク一例



1 保健体育科(第三学年 ダンス…南中ソーラン 全10回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(4種類の南中ソーラン)…授業前に視聴

- ・振付のポイント
- ・振付の創作部分のポイント

(2)学習の流れ(2・3・4時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②グループ学習
課題解決のための練習をグループで選択し取り組む
- ③まとめ
・学習で得たこと、次授業で取り組みたいこと。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・始めに動画を視聴することで、生徒たちに動きのイメージがつきやすいように取り組んだ

1 保健体育科(第二学年 保健…傷害の防止 全6回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(4分35秒の動画)…授業前に視聴

- ・胸骨圧迫の学習ポイント
- ・心肺蘇生法の流れ
- ・AED の使用上の注意

○ 成人の心肺蘇生(AED 使用を含む)

【東京消防庁公式チャンネル】

<https://www.youtube.com/watch?v=FGYZ8jAsd8c>



(2)学習の流れ(6時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②グループ学習
・傷病者の状況把握ロールプレイ
・ペットボトルを活用した胸骨圧迫
- ③まとめ
・学習で得たこと、実生活で取り組みたいこと

3 その他(特に留意したこと等)

- ・グループで心肺蘇生法行う場合はふざけて行わせない。
- ・心肺蘇生法が必要になりそうな場面を想像させて、実習を行う。

1 保健体育科(第三学年 保健・・・医薬品の利用)

2 学習の流れ

(1)反転内容・・・事前に家庭で取り組む

- ・家にある医薬品と医薬部外品を調べる
- ・写真を撮ってくる
- ・それぞれの特徴と違いについて考えておく

(2)学習の流れ

- ・家庭で調べたことを、ワークシートに書き出す
- ・グループで共有
- ・それぞれに共有していること、違うことを話し合う
- ・全体場で発表



3 その他

- ・家庭に物がなかった場合や、調べるのを忘れた人のために、授業内で iPad を使用し、ネットで調べる時間を確保した。

1 保健体育科(第1学年 体育・・・マット運動 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(教科書の付属動画や実際に模範した動画)・・・各自、家で視聴

- ・前転 ・後転 ・開脚前転 ・開脚後転 ・伸びつ前転 ・伸びつ後転
- ・側方倒立回転

(2)学習の流れ(3時限目)

- ①反転した学習内容の確認
- ②課題別学習
- ③まとめ

(3)その他(特に留意したこと等)

- 教え込む授業も必要のため、正しいものをまず模範で見せてから、2時間目以降、動画で確認できるようにする

1 保健体育科(第2学年 水泳 全10回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(YouTube 動画)・・・自宅で視聴

- ・バタフライの合理的な体の動かし方
- ・キック、ストロークのポイント・練習方法

(2)学習の流れ(1・5限目)

【1限目】

- ①反転した学習内容の確認
- ②ストローク、キックを段階的に実施
- ③まとめ

【5限目】

- ①動画を視聴し自分の課題を見つける
- ②課題解決のための練習を選択し、練習計画を立てる
- ③まとめ

3 その他(特に留意したこと等)

- ・様々な練習方法の紹介については、丁寧に紹介した。

動画アドレス (YouTube)

https://youtu.be/_LLJ1YmIto4?si=zicaKZGaYqJKv0hz



1 技術家庭科(技術分野) 生物育成の技術

2 学習の流れ

(1)反転内容(自作編集動画)

- ・ベビーリーフの栽培条件(光、水、温度、肥料など)を解説
- ・成長の速さや収穫タイミング、注意点を視覚的に示す



(2)学習の流れ

①導入

- ・プリントを用いて内容を確認・生徒の疑問点を共有し、授業課題を明確化

②中心活動・グループ学習

- ・実際にベビーリーフを育て、条件(光、水、肥料)の違いで生育にどう影響するか観察
- ・写真や記録を整理してレポート作成

③まとめ 学習で得たこと

- ・基礎知識を前もって理解したことで、授業内での思考活動が深まった
- ・グループ討議で意見を根拠付きで表現する力が向上

3 その他(特に留意したこと等)

- ・事前学習の負担軽減(短時間動画、要点整理ワークシート)
- ・学習差への配慮(復習時間、ペア・班編成工夫)
- ・主体的・対話的学習の促進(説明最小化、討議・表現重視)
- ・安全面の配慮(農具・肥料使用の安全指導)
- ・ICT活用の工夫(動画・写真・記録共有、今後のデジタル記録)

1 家庭科(第一学年 衣生活・・・生活を豊かにするものの製作 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(3分×3種類の動画)・・・授業1週間前に視聴

- ・かがり縫いの技法
- ・たてまつり縫いの技法
- ・本返し縫いの技法

(2)学習の流れ(1時限目)

①反転した学習内容の確認

②製作物ごとの各箇所に適正な技法の選択

③製作

④まとめ

- ・学習で得たこと、次授業で取り組みたいこと。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・事前学習のみでなく、本時の中でも技法がわからなくなったさいには動画を視聴し活動した。

○かがり縫い

(<https://th.bing.com/th?id=OVP.TWc1JtYn0AZ8BNttvkaZQHgFo&w=424&h=238&c=7&pid=2.1&rs=1>)

○たてまつり縫い

(<https://th.bing.com/th?id=OVP.-cg3GE0wKkQuKLOTUFCSxQHgFo&w=168&h=95&c=7&pid=1.7&rs=1&o=7&rm=3>)

○本返し縫い

(https://th.bing.com/th?id=OVP.KZb76E9efdbDJ84s_SkVygHgFo&w=168&h=95&c=7&pid=1.7&rs=1&o=7&rm=3)

1 外国語科(英語)(第1学年 Step1 for our project 発表)

2 学習の流れ

- (1)反転内容(動画視聴)・・・家庭で授業前に視聴
- ・発表の仕方を学ぶ
 - ・良い例と悪い例の動画を視聴してどちらが良いかを選択する。その理由と根拠

(2)学習の流れ(2・3時限目)

- ①反転で学習した内容を確認
- ②その理由を述べさせ、自己の発表の参考にする。
- ③まとめ
実際に発表を行い、それらを評価する。

3 その他(特に留意したこと等)

- ・動画を見てなぜそちらを選んだのかを共有することで全体にどのような発表が良いかを考えさせる。

○ textP28 の a, b の比較



1 外国語科(第一学年 Program9・・・過去形 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(Scenes1・2・3の約3分の動画)

- ・・・授業前に視聴。
- ・過去形(規則動詞、不規則動詞)
- ・肯定文、否定文、疑問文の使い方

(2)学習の流れ(1時限目)

- ①反転した学習内容の確認
 - ・○×問題や英問英答を口頭で確認する。
 - ・過去形の確認
 - ・時制の確認
 - ・音読練習
- ②ペアでのやりとり
 - ・“What did you do yesterday?” を用いた会話練習
 - ・リアクションや追加質問を積極的に使わせる。
 - ・過去形規則動詞“-ed”の3つの発音や過去形の形の確認をする。
- ③ワークシートに書く活動
 - ・やりとりした内容の答えの部分を書く。
 - (“I”が主語の文を2文、友達が主語の文を文)
 - ・発展内容(“yesterday”を“last week”に変える)
- ④まとめ
 - ・振り返りアンケートを行う。

○ QR コード



○ 反転させた事前課題

- ・英問英答(各 Scenes 3 問ずつ)

1 英語科 (第二学年 Program4 全8回)

2 学習の流れ

(1)反転内容(2分の生徒用デジタル教科書動画)

授業前(前日夜) 課題として視聴→プリント学習

・1回目 Scans1・2・3 ・2回目 Part1

・3回目 Part2 ・4回目 Part3

(1~4時間目)

①反転した学習内容の確認(宿題プリント)

②教科書を使っての音読指導

③文法まとめ

(5~6時間目)

①2つの単元の復習と音読指導

(7時間目)

①事前に学習したプリントを使って、理想の学校について4人グループで話し合わせる

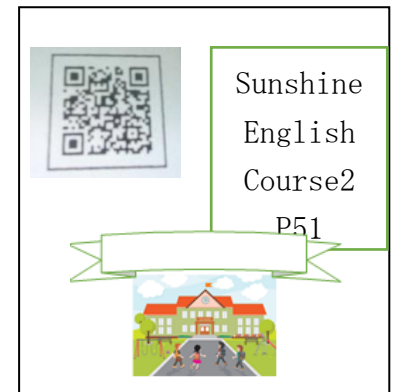
②発表

(8時間目)

①音読テスト ②Program4 のワーク・ノートの学習

3 その他(特に留意したこと等)

・must と have to の相違点については例文を提示するなどして丁寧に説明した。



1 英語科(第3学年 Program6) ”The Great pacific Garbage Patch”

2 学習の流れ

(1)反転内容(教科書及びワークシート)・・・授業前に実施

・3、4人のグループを作り、それぞれの担当のパートを決める。

・パート1,2,3 の本文の内容把握をする。

(2)学習の流れ(2時間目)

①反転した内容の確認

・新出単語の音声・意味の確認をする。

・パート 1,2,3 ごとに教室の指定された場所に集まる。
予習してきた内容及び本文の概要について、パートごとに共有・教え合いをする。

②グループ学習

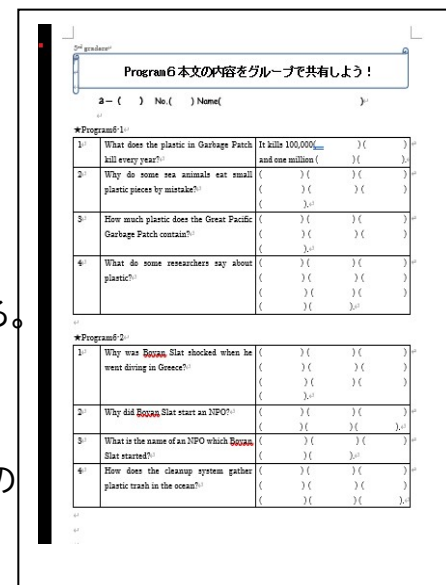
・前時に編成した3人グループになり、各生徒が自分の担当パートの本文の内容を、班員に伝える。

③まとめ

本文の内容をクラス全体で共有・把握する。

3 その他(特に留意したこと等)

・パートごとに集まって概要を把握してから、グループ学習を行うことで、英語が苦手な生徒でも取り組みやすくなった。



1 外国語科[英語](9組 習熟度学習 学力上位層クラス対象)

2 学習の流れ

(1)反転内容(2～3分の文法解説動画)・・・家庭学習で視聴させる

- ・新出文法を使った文例の確認
- ・文法のルール確認

(2)学習の流れ(1時間分)

①反転した学習内容の確認

②新出文法を用いたペア活動

- ・教科書の例文を用いた対話文練習
- ・例文を応用し、自分のことに置き換えた対話文練習
- ・ペア活動でアウトプットした内容の英作文練習

③まとめ

- ・新出文法を用いた英作文のグループ内共有

(3) その他

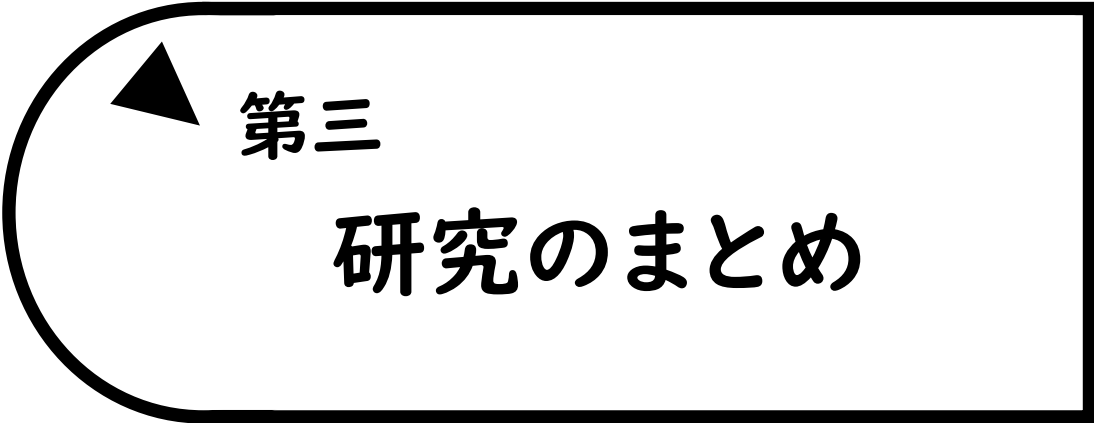
- ・習熟度に差があるので、生徒の力量に応じて求めるレベルを調整して英作文練習に取り組ませている

参考 QR コード

Sunshine3 p.38

英語早わかり





第三

研究のまとめ

- 現行学習指導要領の実施状況から見えた課題
- 次期学習指導要領に向けて
- 篠崎中学校の本年度研究の成果と課題
- 今後の取組

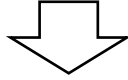
※令和8年1月28日(水)校内研修講師

江戸川区教育委員会教育相談センター 松井芳信 指導主事 資料より

1 現行学習指導要領の実施状況から見えた課題

①「〇〇な学び」の多用と複雑性

主体的・対話的で深い学び、個別最適な学び、協働的な学び、解説はあるものの、抽象的な表現が数多く記載されており、読み取りが困難



先生方に、よりわかりやすい、学習指導要領へ

②学習指導要領が適切に読みこまれていないという課題も…

本時主義から脱却できない = 深い学びが実現されていない

深い学び =

身につけて欲しい力(資質・能力)



まとまりの構想(単元計画)



1コマの授業(本事案)

もう一度、原点に戻って…

●●って子供たちは
何を学んでいますか？



「知識及び技能」
「思考力, 判断力, 表現力等」
「学びに向かう力, 人間性等」

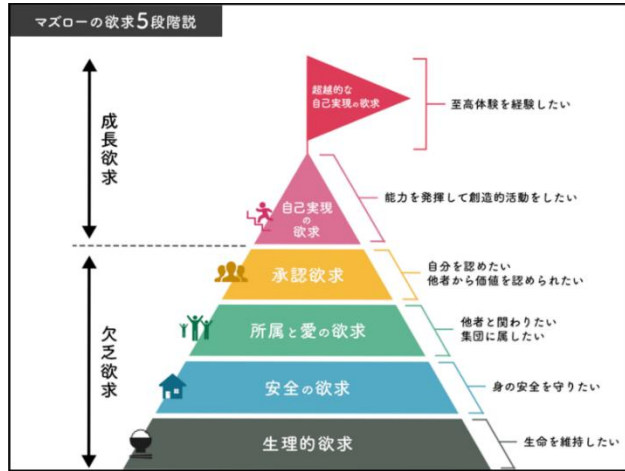


(2)次期学習指導要領に向けて

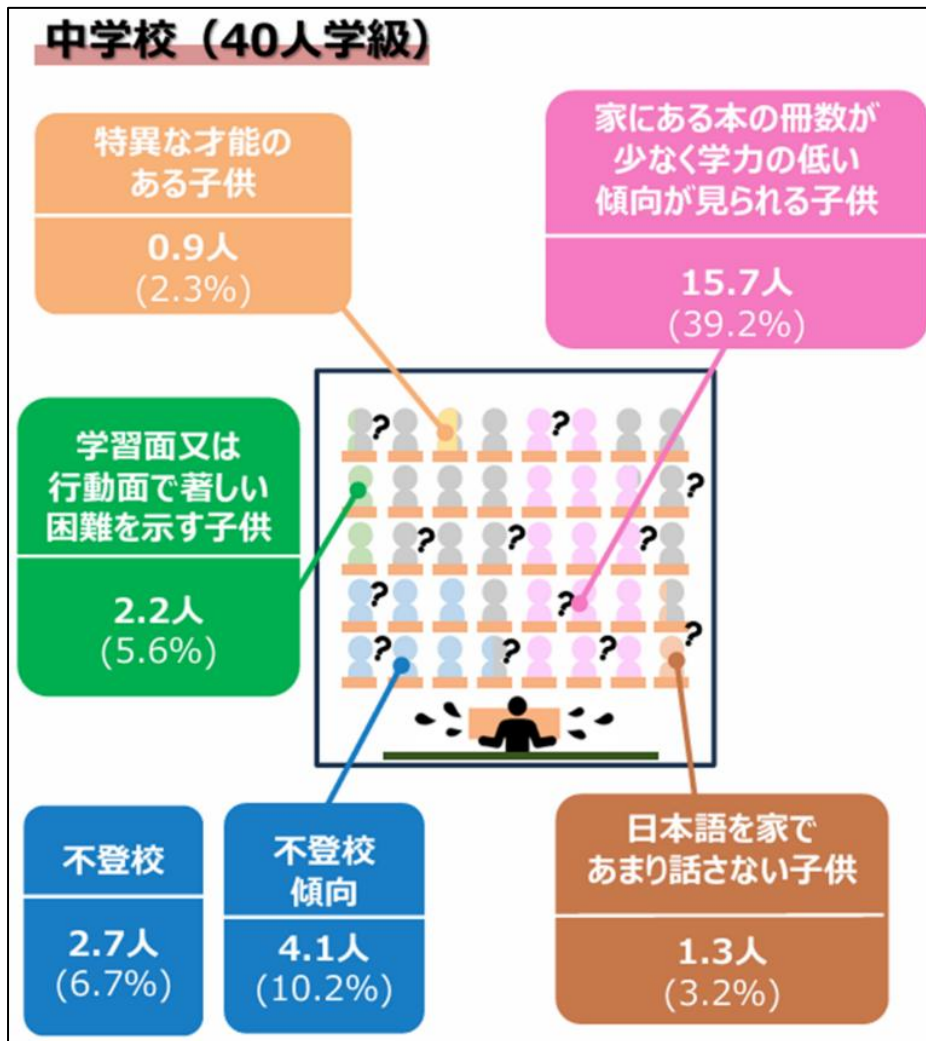
○ICTの発想が教具的な発想に留まっている。

- ・「個に応じた指導」における情報手段の活用が示されているが、教師による指導体制・指導方法の工夫の観点のみに留まっている。
- ・デジタル学習基盤の活用により、子供自身が主体的に学習を調整できる環境が整ってきており、全国学調でも、ICT機器を使用する頻度と各教科の正答率・スコアとの間に一定の関係がみられるが、学習者の学習ツールとしての発想に立った記載が学習指導要領にないことが、授業改善の推進に当たって課題になっているとの指摘もある。

○対話的・協働的な学びの前提としての集団作りや心理的な安定性の確保
 孤立的な学びに陥ったり、集団の中で個が埋没してしまうことのいずれも避けながら、全ての子供の資質・能力の育成につながるよう、**一斉・グループ・個別**といった様々な形態を効果的組み立てていくことの重要性、対話的な学び・協働的な学びの前提としての集団作りや心理的な安定性の確保の重要性なども示すべき。



○生徒の多様性を包摂する必要性



○深い学びの実装を目指す

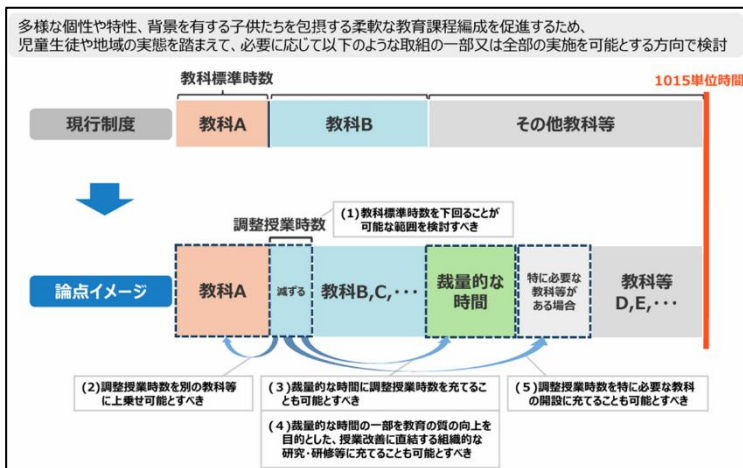
(例) 実装のために構造化、表形式化されます

構造化のイメージ (中学校の例)			
外国語の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
見方・考え方	外国語及び外国語によるコミュニケーションを文化の違いや社会及び相手との関わりに着目して捉え、他者の考えを受け止めるとともに、表現等を工夫して自分の考え等を発信し、多様な他者との相互理解を図ること		
英語の目標	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力・人間性等
内容	英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法並びに[P]言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、英語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えたりすることができる力を養う。	英語によるコミュニケーションなどに興味・関心を持ち、他者との対話・協働を通して考えを広げたり深めたりするとともに、自らの学習を調整して、他者との相互理解を深めようとする態度を養う。
	高次の資質・能力	領域	第1学年相当 第2学年相当 第3学年相当
思考力・判断力・表現力等	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、 ・聞いた話などについて必要な情報や考えなどを捉え、整理したり、既存の知識や経験と関連付けたり比較したりして、考えを形成することができる。【理解する】 ・情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、表現等を工夫して他者に伝えることができる。【表現する】 ・相手が話したり書いた内容を要約止めながら、情報や自分の考え、気持ちなどを、相手に分かりやすいように表現等を工夫して伝え合うことができ、相互理解を深められる。【伝え合う】	聞くこと	話題 日常的な話題について 条件 身近な社会的な話題について できること (ア) 必要な情報を聞き取ることができる (イ) 概要を捉えることができる (ウ) 要点を捉えることができる 条件 簡単な語句や文で書かれた できること (ア) 必要な情報を読み取ることができる (イ) 概要を捉えることができる (ウ) 要点を捉えることができる
		読むこと	話題 日常的な話題について (身近な話題について、(自分にとって) 興味・関心のある話題について) 身近な社会的な話題について 条件 簡単な語句や文を用いて (ア) 自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合うことができる (※身近な社会的な話題については対象としない) (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し伝え合うことができる (ウ) 聞いた話などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを伝え合うことができる (ア) 自分の考えや気持ちなどを即興で話すことができる (※身近な社会的な話題については対象としない) (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある内容を話すことができる (ウ) 聞いた話などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを話すことができる (ア) 情報や自分の考え、気持ちなどを文で書くことができる (イ) 事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる (ウ) 聞いた話などについて、考えたことや感じたこと、その理由などを書くことができる
		話すこと (やり取り)	
		話すこと (発表)	
知識及び技能	英語の音声、語彙、表現、文構造及び文法並びに[P]言語の働きなどを認識し、これらの知識を、場面や状況に応じて組み合わせることで、英語による理解や表現の質を高めることを理解できる。	ア 音声	音声の特徴を理解し、読みや聞き取りの際に、場面や状況に応じて活用できる。読みや聞き取りの際に、音声の特徴についての知識を活用できる
		イ 符号	符号の意味や使い方を理解し、読みや聞き取りの際に、場面や状況に応じて活用できる
		ウ 語、連語及び慣用語	語、連語及び慣用語の意味や使い方を理解でき、読みや聞き取りの際に、文脈に応じて活用できる。頻度の高いものについては、読みや聞き取りの際に、場面や状況に応じて活用できる
		エ 文、文構造及び文法事項	文、文構造及び文法事項の意味、形式及び働きを理解し、読みや聞き取りの際に、場面や状況に応じて活用できる
		[P]言語の働きに関する事項	次の事項について、使用される場面や状況でどのような働きをするのかを理解し、読みや聞き取り、読みや聞き取りの際に、場面や状況に応じて活用できる
		ア … …	
※高次の資質・能力以外の内容の具体的な文言は、告示に当たり別途検討 ※文化等の理解については内容の取扱いや活動の例示で示す			

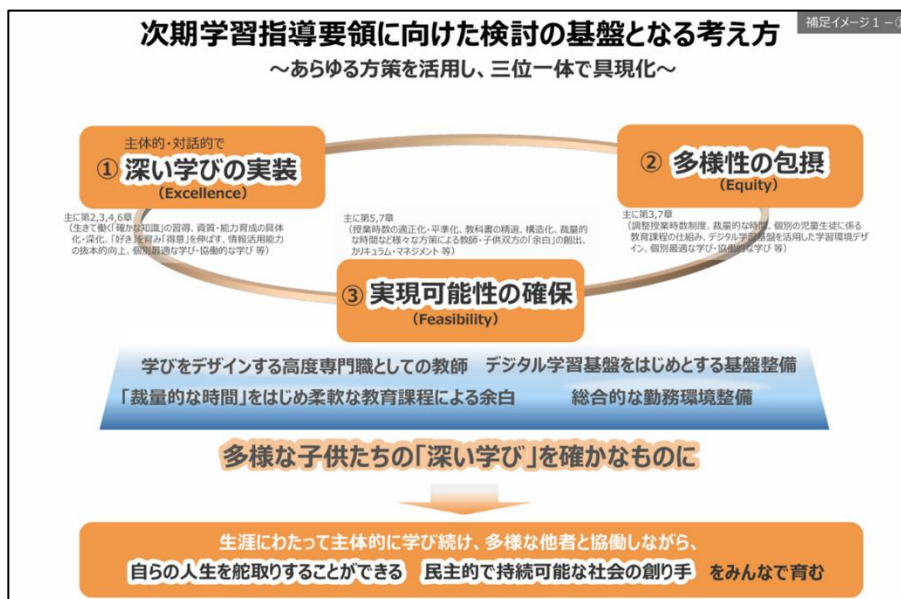
○情報・技術科(仮)



○余白



○次期学習指導要領に向けた基盤となる考え方



(3) 篠崎中学校の本年度研究の成果と課題

○成果

- ・小単元・または大単元の計画の中反転学習に挑戦できた学習課題に向き合う時間が確保できた。
- ・生徒が考える時間を作れた結果、教師の説明だけの授業よりも、生徒の理解度が上がった。(教員も理解度UP)
- ・家で考えさせることで身近なヒントが手近に(保健体育科「医薬品の利用」の事例)自分事化、主体性の向上、映像によるイメージ化、確保した時間で内容の濃い対話の実現いわゆる予習効果で不安感の減少、説明時間の短縮、教え合い・学び合い、内容の深まりができた。

○課題

- ・反転学習が単なる宿題となってしまった。
 やらない生徒 学習習慣の定着にそもそも課題あり事前課題？ 事前学習？ 事前部分の評価は？
- ・調べ方 AI コピペ、調べることの意義深い学びになっている？
 (教員:一単位時間で考えてしまった)
- ・実施時期等カリキュラムマネジメントの必要性
 教員:個別対応をどうするか？
- ・反転授業用の準備(特に映像資料)の時間
- ・取り組んだ生徒とできなかった生徒への配慮、手だて、目的意識の醸成、動機付け、生徒の負担、習熟度の差、さらなる学力差の拡大

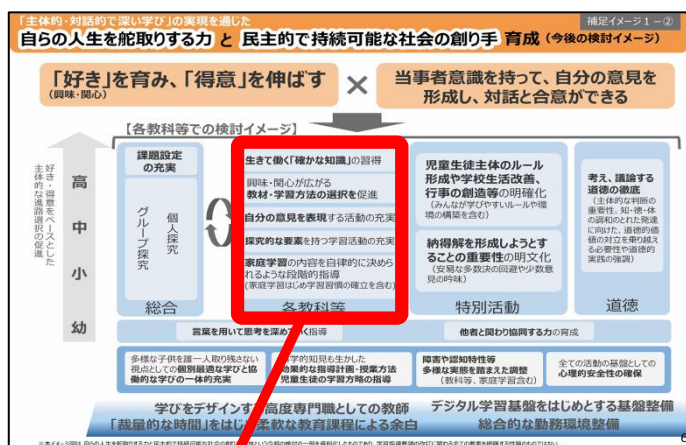
<まとめ>

×反転授業を行うから生徒が主体的に学ぶ

○主体的に学ぶ生徒が反転授業に取り組むと効果が高まる

主体性を育む
||
生徒が決める
||
学びの選択肢

(4)今後の取組



生きて働く「確かな知識」の習得
興味・関心が広がる
教材・学習方法の選択を促進
自分の意見を表現する活動の充実
探究的な要素を持つ学習活動の充実
家庭学習の内容を自律的に決められるような段階的指導
(家庭学習はじめ学習習慣の確立を含む)
各教科等

教材・学習方法の選択
家庭学習の選択

選択できると
主体性 UP?

<まとめ>

○全体的に取り組むべき課題
(自己決定の全教育活動への導入)

主体性を育み

○目標を達成するための方略・手段

反転授業を通して
時間と機会を確保し

○既習の知識・技能を活用できるような課題設定

生徒が自己表現する
活動をとおして

◎目的の達成

目的の資質・能力が育まれたか
生徒と教師も振り返りを忘れずに

思考力
判断力
表現力
を養いましょう

参考・引用文献

- 「中学校学習指導要領解説総則編」平成 29 年7月 文部科学省
- 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」令和2年3月 文部科学省国立教育政策研究所教育課程研究センター
- 「学習指導要領の趣旨の実現に向けた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に関する参考資料」令和3年3月版 文部科学省初等中等教育局教育課程課
- 「今後の教育課程、学習指導及び学習評価等の在り方に関する有識者検討会論点整理」令和6年9月18日
- 「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」令和6年 12 月 25 日 中央教育審議会諮問
- 「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について(諮問)参考資料」令和7年1月 29 日 中央教育審議会諮問
- 令和6年度東京都公立中学校保健体育科研究会「第61回研究発表」令和7年2月 18 日(火)
- 「『個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実』のためのサポートマガジン『みるみる』」令和7年4月(「noto」オンラインマガジン公表)文部科学省

令和7年度江戸川区立篠崎中学校研究組織

校内研究講師

江戸川区教育相談センター 指導主事 松井 芳信 氏

管理職等

氏名	職名	勤務校
紅林 兼一	校長	江戸川区立篠崎中学校
松本 将典	副校長	同校
服部 篤史	主幹教諭	同校
廣瀬 賢一	主幹教諭	同校

DX部

主任	横山 清貴	主任教諭	同校
第一学年	田中 美優	教諭	同校
第二学年	飯塚 草太	教諭	同校
第三学年	根岸 将人	主任教諭	同校
第三学年	中山 千代	教諭	同校
特別支援	山南 安由美	教諭	同校
チャレンジ	朝治 俊輔	教諭	同校
チャレンジ	坂内 侑里奈	主任教諭	同校

令和7年度

江戸川区立篠崎中学校研究紀要

「思考力・判断力・表現力等の育成」

～反転授業を通して～

令和8年3月2日発行

発行者 江戸川区立篠崎中学校

担当部 DX部

所在地 〒133-0061

江戸川区篠崎町5-12-19

電話 03-3679-3001

